

第9次拡張事業 (平成9年度～23年度)

新たな水源(井手口川ダム)を確保、拡張事業の大きな力に

昭和63年、本市においても公共下水道が一部供用を開始され、市街地はもちろんその周辺の農村地域まで処理区域が広がり、合併浄化槽の設置、農業集落排水事業への取り組み等もあり水道水の需要が急速に高まりました。また、平成6年には大干ばつに見舞われ、長期にわたる時間給水を余儀なくされた苦い経験から、将来を見据えた水道水源の安定確保と拡張事業の早期実施が喫緊の課題となりました。

そこで、かねてより大川町東田代に建設が計画されている県営井手口川ダムに平成9年度から費用負担を行い、日量4,000㎥の水源を確保し、平成9年に認可を受け、将来的な水需要に対処すべく、平成16年度から大川浄水場の建設を中心とした第9次拡張事業に取り組みました。

市民生活の安定を図り、安全な水を安定した水量で供給できるよう、水源に乏しい市営簡易水道4施設(大川、松浦、藤川内、福川内)、民営簡易水道2施設(福母、岳坂)及び小規模飲料水供給施設(北野地区)を上水道に取り込み、その他の未給水地域(岳坂の一部、梅岩、畑津・内野、炭山地区)への区域拡張を行いました。大川、松浦地区へは平成24年7月から給水を開始しました。



井手口川ダム

- 伊万里市
- 伊万里湾岸
- 既存給水区域
- 拡張区域



第9次拡張

第9次拡張事業

計画給水人口	50,000人
計画1日最大配水量	25,500㎥
計画1日1人給水量	510ℓ
着工年度	平成9年度
竣工年度	平成24年度
総事業費	5,859,597千円

大川浄水場から各地区へ

取水量4,900㎥(井手口川ダム4,000㎥、松浦川900㎥)を有し、伊万里市では有田川浄水場に次ぐ2番目の規模の浄水場で、高度浄水処理方式(p40参照)を導入しています。浄水場でつくられた水ははじめに大川配水池へ送られ、その後各地区へと給水されます。主に大川・松浦・南波多地区へ給水を行っており、有田川浄水場給水区域とも接続しているため水道水源の安定確保の一助を担っています。



生物接触ろ過棟



膜ろ過棟



膜ろ過装置



大川配水池

伊万里市制60周年記念事業

おいしい水ペットボトルを作りました

市制60周年及び水道通水100周年を記念して、皆様に水道水のおいしさや安全性をPRし、水道事業への理解を深めていただくために、大川浄水場で高度浄水処理した水道水を詰めたペットボトルを製造しました。

■名称/ 伊万里のおいしい水道水 まゆやま 眉山の雫
 大川浄水場の水源のうち一番近くて馴染みのある「眉山」と、水の爽やかなイメージである「雫」を合わせて命名。

■製造本数/ 3,000本(500ml)

■事業年度/ 平成26年度



第9次拡張事業 概略図

簡易水道統合整備事業

大川浄水場の整備の他、統合する地域への給水を行うため、新たに配水池を3箇所、ポンプ設備を4箇所設置しました。統合は大川浄水場給水区域への施設統合に限らず、有田川浄水場の給水区域への施設統合も行いました。



福母送水ポンプ場



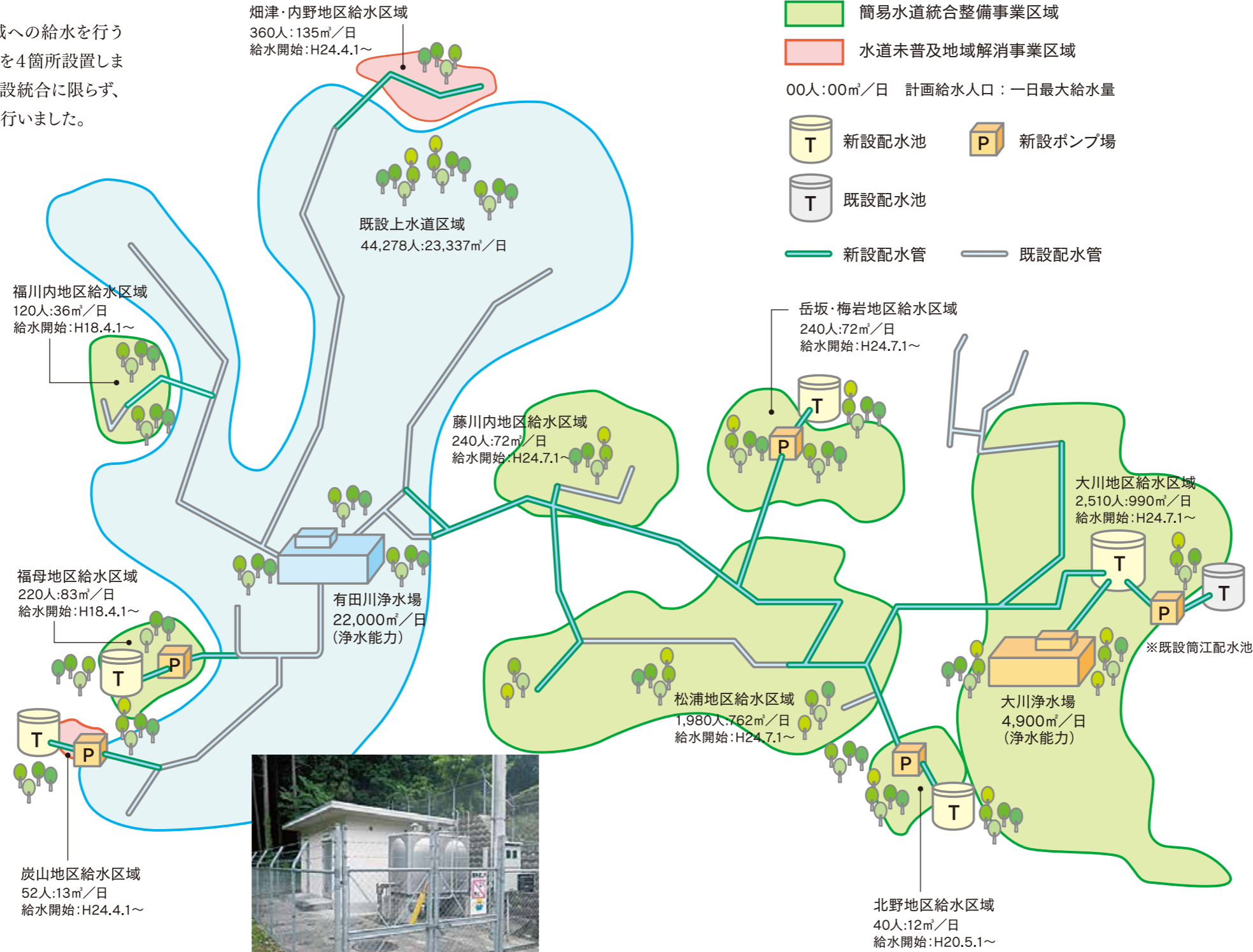
福母配水池



炭山配水池



北野送水ポンプ場



水道未普及地域解消事業

畑津・内野地区及び炭山地区において飲料水不足や水質悪化による住民の不安を解消するため上水道区域の拡張を行いました。炭山地区においては新たに配水池を1箇所、ポンプ設備を1箇所設置し、畑津・内野地区においては管路の延長を行いました。



岳坂配水池



岳坂送水ポンプ場



簡江送水ポンプ場



北野配水池